

ながぬま
長沼地区

1. 概要

本地区は、静岡市中心部の東に位置し、平成20年度開校予定の県立総合科学技術高等学校の整備が進められているが、周辺道路については、歩道等歩行者が安心して歩ける施設が整備されておらず、通勤、通学時間帯においては、自動車の往来も多く、近隣住民及び通勤、通学者の歩行に支障をきたしているのが現状である。

このため、周辺環境の改善、隣接する新都市拠点整備事業地区間と連携のとれた交通網の整備、谷津山の自然を活かしたまちづくり推進のための整備を行うものである。

2. 目標

○大目標：地域の拠点施設の導入に伴う周辺環境の整備改善と地域の風土を保全し、自然と一体感を持てるようなまちづくりを推進する。

- ・目標1：近隣駅からのアクセスルート及び周辺道路の歩行者空間の整備・改善を行ない、地元住民や通学者を安全に誘導できる交通網の改善を図ることにより、安全で快適な地域環境を整える。
- ・目標2：国道を挟む鉄道駅間の交通施設の整備を行うことにより、通勤、通学者等の利便性の向上を図る。
- ・目標3：谷津山自然公園の整備と道標整備等を行うことにより、自然と触れ合いやすい生活環境を整える。

3. 計画内容

所在地	： 静岡県静岡市 <small>しずおかし</small>
施行者	： 静岡市
面積	： 62ha
全体事業費	： 約7.9億円（交付限度額：約3.2億円）
計画期間	： 平成16年度～平成20年度
交付期間	： 平成16年度～平成20年度
H18事業費	： 1.5億円（うち国費0.7億円）
H19事業費	： 1.4億円（うち国費0.5億円）
H20以降残事業費	： 約1.7億円
H19末進捗率（予定）	： 約78%

4. 主な事業計画

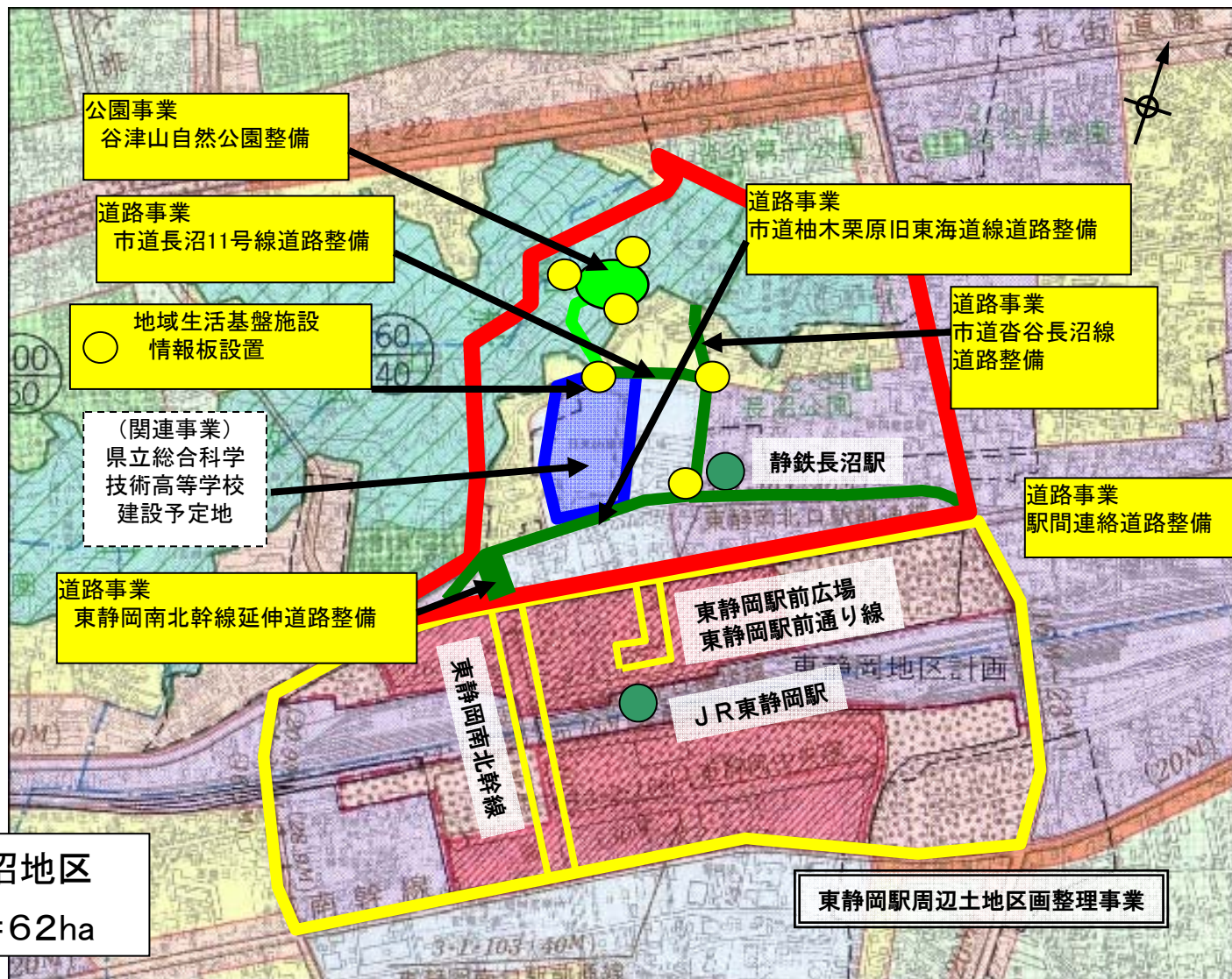
- ・基幹事業：道路5路線、公園1箇所、地域生活基盤施設1箇所

5. 目標を定量化する指標

- ・交通バリアフリー基本構想における重点整備区域内の歩行空間整備率：
 - 29.9%（平成16年度）→44.0%（平成20年度）
- ・交通バリアフリー基本構想における特定経路の歩道整備率：
 - 0%（平成16年度）→16.8%（平成20年度）
- ・交流人口の増加： 12,700人（平成16年度）→15,900人（平成20年度）

長沼地区(静岡県 静岡市) 整備方針概要図

目標	○地域の拠点施設の導入に伴う周辺環境の整備改善と地域の風土を保全し、自然と一体感を持てるようなまちづくりを推進する。	代表的な指標	交通バリアフリー基本構想における重点整備区域内の歩行空間 (%)	29.9	(H16年度)	→	44.0	(H20年度)
			交通バリアフリー基本構想における特定経路の歩道整備率 (%)	0	(H16年度)	→	16.8	(H20年度)
			鉄道駅乗降客数 (人)	12,700	(H16年度)	→	15,900	(H20年度)



長沼地区
A=62ha

凡 例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業

まちづくり交付金 モニタリングシート
長沼地区

平成20年2月

静岡県静岡市

様式3 モニタリング結果のまとめ

都道府県名	静岡県	市町村名	静岡市	地区名	長沼地区
計画期間	平成16年度～平成20年度	まちづくり交付金交付期間	平成16年度～平成20年度		
モニタリング実施時期	平成20年1月				

1)事業の進捗状況	著しい遅れのある事業の有無		同左事業名					
	<input checked="" type="radio"/>	なし						
	<input type="radio"/>	あり						
2)都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標		単位	達成度（モニタリング時）	達成見込みの有無		達成見込みなしの場合の対応案	
					あり	なし		
	指標1	交通バリアフリー基本構想における重点整備区域内の歩行者空間整備率	%	○	○			
	指標2	交通バリアフリー基本構想における特定経路の歩道整備率	%	○	○			
	指標3	交流人口の増加（鉄道駅乗降客数）	人	○	○			
	指標4							
3)その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況	指標		単位	従前値	数値（モニタリング時）		効果発現の要因	
				基準年度			総合所見	
	その他の数値指標1							
	その他の数値指標2							
その他の数値指標3								
4)定量的に表現できない定性的な効果発現状況	・本事業の実施に伴い、庁内の連絡体制が着手前に比べ、緊密になった。							
5)実施過程の評価	評価項目	実施内容		実施状況		今後の対応方針等		
	住民参加プロセス	地元説明会に実施した。要望書の提出があった。			予定どおり実施できた		今後も同様の方法で継続していく	
					予定していなかったが実施した			
				○	予定したがモニタリング時点では実施していない			
	持続的なまちづくり				予定どおり構築できた			
					予定していなかったが構築した			
				予定したがモニタリング時点では構築していない				
6)モニタリングの所見	<input type="radio"/>	順調		コメント（改善点の概要）				
	<input type="radio"/>	計画・事業の進め方の改善が必要						